

4 設問別調査結果 [理科]

中学校 [理科]

京都府一生徒（公立）

集計結果

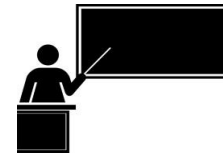
	生徒数	学校数	平均正答率
京都府（公立）	9,564	98	65.7
全国（公立）	967,188	9,588	66.1

分類・区分別集計結果

分類	区分	平均正答率(%)	
		京都府	全国
枠組み	主として「知識」に関する問題	66.0	67.9
	主として「活用」に関する問題	65.0	64.9
学習指導要領の区分等	第1分野	物理的領域	74.3
		化学的領域	64.5
	第2分野	生物的領域	71.0
		地学的領域	58.1
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度	77.9	74.0
	科学的な思考・表現	65.2	64.9
	観察・実験の技能	64.6	67.0
	自然事象についての知識・理解	67.6	68.7
問題形式	選択式	70.5	70.9
	短答式	68.1	70.2
	記述式	50.5	50.1

◇ どの領域も全国平均を下回っている中で、無解答率が全国平均を上回っているのは1問だけである。

◆ 27問中13問が全国平均を下回っている。観察や実験の技能を身に付けるとともに、観察や実験を通して知識を身に付けることが必要である。



設問別集計結果

設問番号	設問の概要	領域等	正答率		無解答率	
			府(※1)	全国	府(※2)	全国
1(1)	光の反射を利用した「テレプロンプター」のモデルを作って科学的に探究する場面において、光の直進や反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用することができるかどうかをみる	物理的領域	61.5	61.7	0.1	0.1
1(2)		物理的領域	73.8	73.7	0.2	0.2
2(1)	理科通信のアサリに興味をもち、アサリが出す砂の質量は何に関係しているのかを科学的に探究する学習場面において、水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識、問題解決の技能を活用できるかどうかをみる	生物的領域	85.7	86.2	0.1	0.1
2(2) 低い濃度		化学的領域	76.9	76.5	1.0	1.2
2(2) 3.0%の濃度		化学的領域	41.3	46.9	1.1	1.3
2(3)		生物的領域	80.2	79.7	0.1	0.2
2(4)		生物的領域	61.0	61.3	8.8	9.5
3(1)	コンピュータを使ったシミュレーションで台風の進路や風向を科学的に探究する場面において、日本の天気の特徴に関する知識と観測方法や記録の仕方に関する知識・技能、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	地学的領域	37.1	37.5	0.1	0.2
3(2)		地学的領域	66.6	67.3	0.4	0.4
3(3)		地学的領域	52.8	52.3	6.8	7.9
4(1)	図書便りに紹介されていたファラデーの「ロウソクの科学」を読んで、ガスバーナーを使った燃焼を科学的に探究する場面において、実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	化学的領域	69.6	73.4	0.2	0.4
4(2)		化学的領域	44.9	44.1	13.9	15.5
4(3)		化学的領域	47.1	49.4	15.8	16.2
5(1)	「運転中に運転士に話しかけるとブレーキを踏むのが遅れるのではないか」という予想を科学的に探究する場面において、刺激と反応についての知識と自然の事物・現象を実験の装置や操作に対応させたモデル実験の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	生物的領域	48.3	57.2	7.4	7.1
5(2)		生物的領域	63.9	62.8	0.3	0.5
6(1)	自転車のライトの豆電球型のLEDが豆電球に比べて明るく点灯したことに疑問をもって科学的に探究する場面において、電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	物理的領域	69.0	70.5	0.2	0.4
6(2) 電流		物理的領域	78.4	77.2	10.6	11.6
6(2) 抵抗		物理的領域	50.3	51.9	13.9	14.6
6(3)		物理的領域	91.8	91.4	0.4	0.6
7(1)	緊急地震速報による避難訓練の後、地震を科学的に探究する場面において、地震の揺れの伝わり方や光と音の伝わり方に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	地学的領域	57.7	55.1	0.2	0.4
7(2)		地学的領域	77.9	78.5	0.3	0.5
7(3)		物理的領域・地学的領域	95.2	94.4	3.0	3.6
8(1)	火を使わないで発熱する商品の仕組みを科学的に探究して実験ノートにまとめる場面において、化学変化と熱についての知識と問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる また、探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見だし探究を深めようとしているかどうかをみる	化学的領域	85.2	83.5	0.3	0.6
8(2)		化学的領域	73.4	72.0	0.3	0.6
8(3)		化学的領域	77.9	74.0	16.9	20.3
9(1)	部屋に見立てた容器に植物を入れて湿度の変化を科学的に探究する場面において、蒸散と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	生物的領域	87.0	88.0	0.3	0.6
9(2)		地学的領域	19.4	19.4	18.3	21.4

※1 府(京都市を除く)の正答率が全国の正答率より低い問題についてはセルの色を ■ で、表示しています。

※2 府(京都市を除く)の無解答率が全国の無解答率より高い問題についてはセルの色を ■ で、表示しています。